

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第91回)

2019年 7月～9月期 実績

2019年10月～12月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------	---

調査目的や対象企業（業種）、回答率など

設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
---------------------	---

9つの質問に対する業種別による回答状況

業種別D I 値について・・・・・・・・	5
----------------------	---

6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント

全体D I 値について・・・・・・・・	9
---------------------	---

全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移

比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
-----------------------	----

同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較

（中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）

第82回・平成29年4～6月調査からは、依頼企業数を150社から270社へ増やすとともに、対象業種を6つに絞った（従来は10業種）。

これは、各地域・機関で行っている同様の調査結果と比較できるように工夫したもので、巻末に比較資料編を付けてある。

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 令和元年 9 月
- ② 調査対象期間 今期（令和元年 7 月～9 月期）に対する前期（令和元年 4 月～6 月期）及び前年同期（平成 30 年 7 月～9 月期）との比較実績、並びに今後 3 ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を 5 つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	2 7 0	→	2 0 9	(7 7 . 4 1 %)
輸送機器	4 0	→	3 3	(8 2 . 5 %)
その他製造	4 0	→	3 6	(9 0 . 0 %)
建設業	5 0	→	3 6	(7 2 . 0 %)
卸売業	3 0	→	2 3	(7 6 . 7 %)
小売業	4 0	→	3 1	(7 7 . 5 %)
サービス業	7 0	→	5 0	(7 1 . 4 %)

5. D I 値について

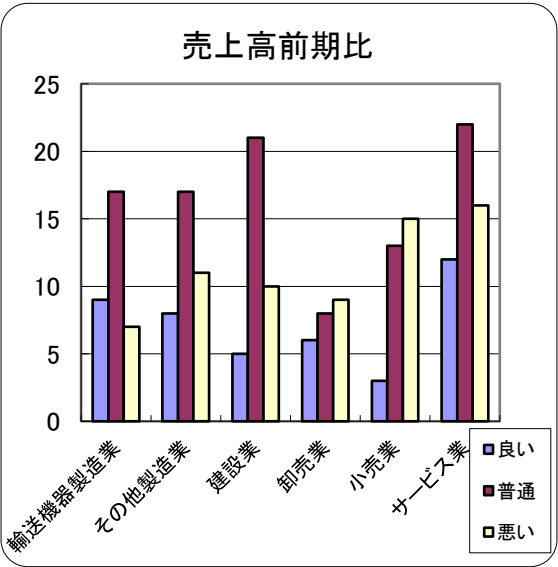
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…10% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲15.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

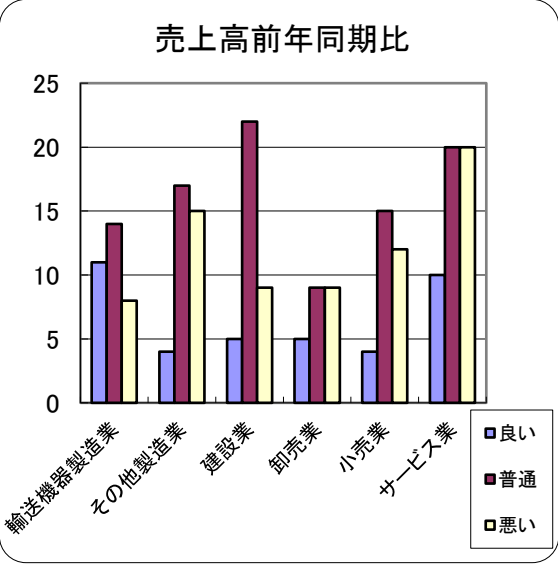
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	17	7	33	6.1
その他製造業	8	17	11	36	▲ 8.3
建設業	5	21	10	36	▲ 13.9
卸売業	6	8	9	23	▲ 13.0
小売業	3	13	15	31	▲ 38.7
サービス業	12	22	16	50	▲ 8.0
合計	43	98	68	209	▲ 12.0



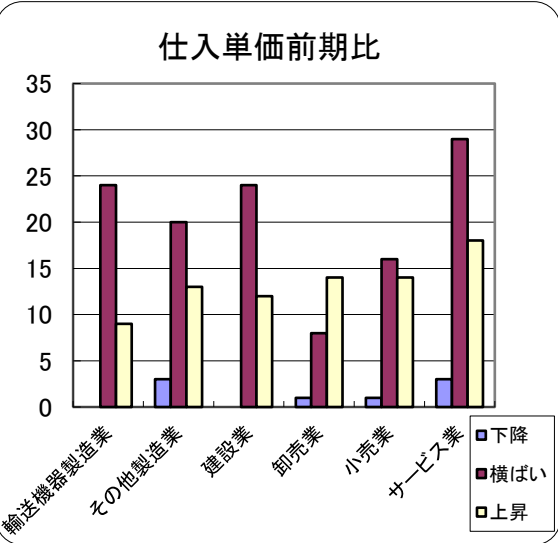
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	11	14	8	33	9.1
その他製造業	4	17	15	36	▲ 30.6
建設業	5	22	9	36	▲ 11.1
卸売業	5	9	9	23	▲ 17.4
小売業	4	15	12	31	▲ 25.8
サービス業	10	20	20	50	▲ 20.0
合計	39	97	73	209	▲ 16.3



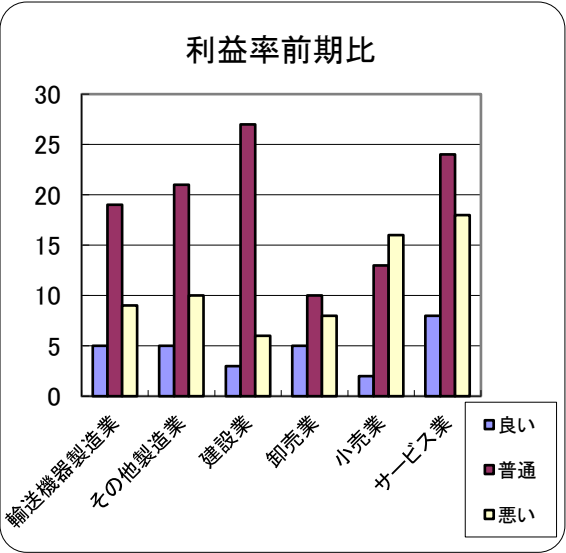
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	24	9	33	▲ 27.3
その他製造業	3	20	13	36	▲ 27.8
建設業	0	24	12	36	▲ 33.3
卸売業	1	8	14	23	▲ 56.5
小売業	1	16	14	31	▲ 41.9
サービス業	3	29	18	50	▲ 30.0
合計	8	121	80	209	▲ 34.4



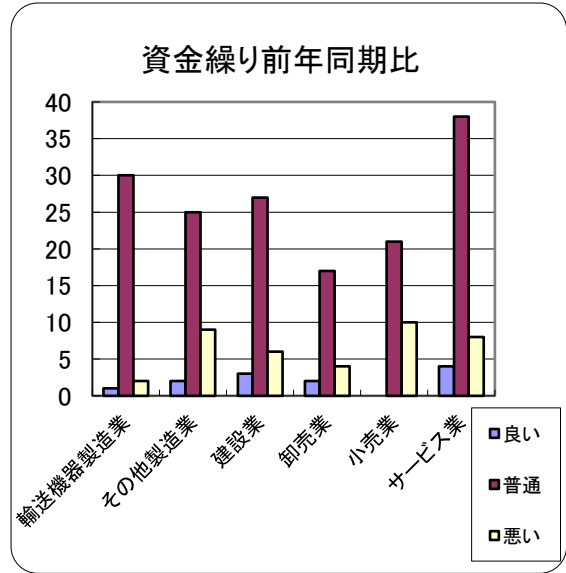
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	19	9	33	▲ 12.1
その他製造業	5	21	10	36	▲ 13.9
建設業	3	27	6	36	▲ 8.3
卸売業	5	10	8	23	▲ 13.0
小売業	2	13	16	31	▲ 45.2
サービス業	8	24	18	50	▲ 20.0
合計	28	114	67	209	▲ 18.7



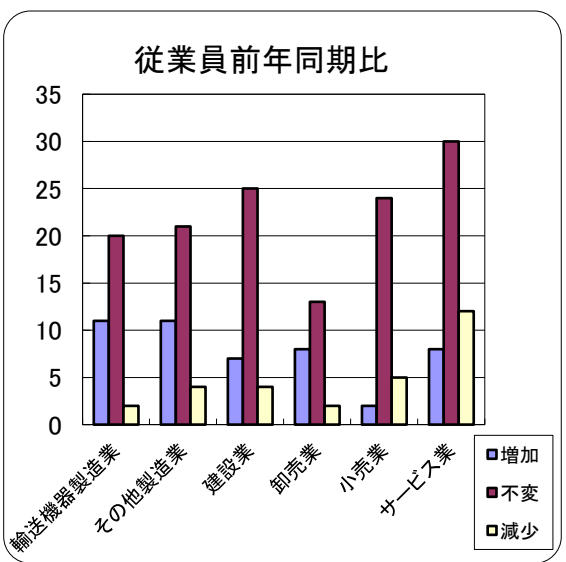
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	30	2	33	▲ 3.0
その他製造業	2	25	9	36	▲ 19.4
建設業	3	27	6	36	▲ 8.3
卸売業	2	17	4	23	▲ 8.7
小売業	0	21	10	31	▲ 32.3
サービス業	4	38	8	50	▲ 8.0
合計	12	158	39	209	▲ 12.9



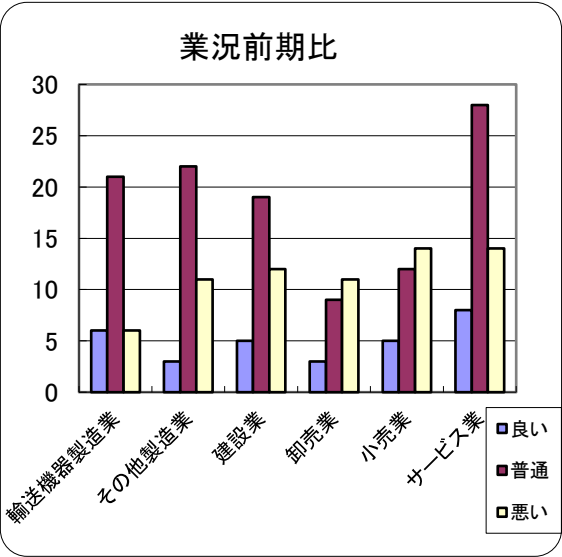
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	11	20	2	33	27.3
その他製造業	11	21	4	36	19.4
建設業	7	25	4	36	8.3
卸売業	8	13	2	23	26.1
小売業	2	24	5	31	▲ 9.7
サービス業	8	30	12	50	▲ 8.0
合計	47	133	29	209	8.6



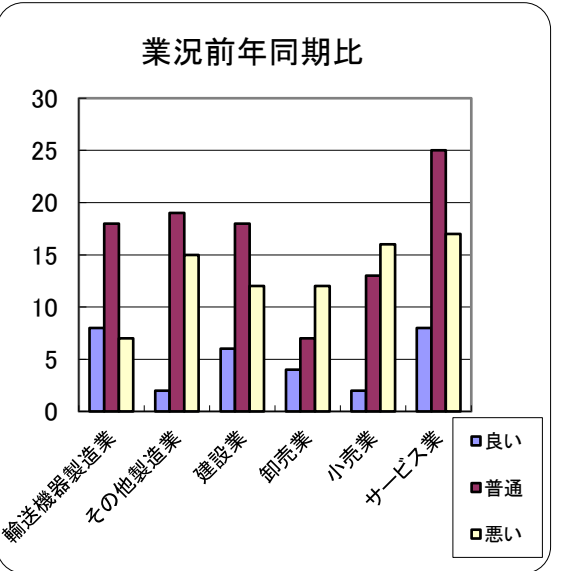
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	21	6	33	0.0
その他製造業	3	22	11	36	▲ 22.2
建設業	5	19	12	36	▲ 19.4
卸売業	3	9	11	23	▲ 34.8
小売業	5	12	14	31	▲ 29.0
サービス業	8	28	14	50	▲ 12.0
合計	30	111	68	209	▲ 18.2



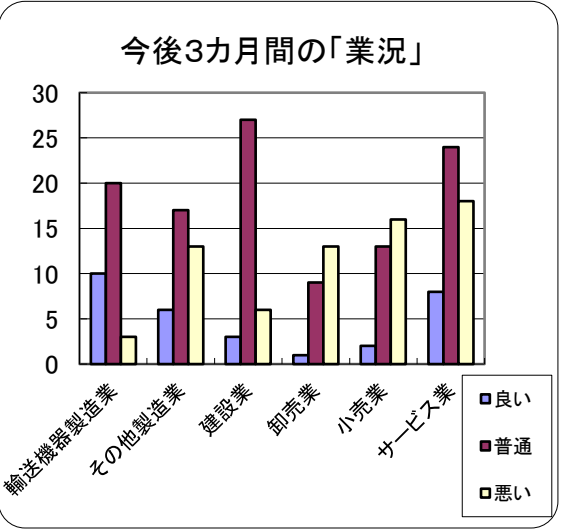
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	18	7	33	3.0
その他製造業	2	19	15	36	▲ 36.1
建設業	6	18	12	36	▲ 16.7
卸売業	4	7	12	23	▲ 34.8
小売業	2	13	16	31	▲ 45.2
サービス業	8	25	17	50	▲ 18.0
合計	30	100	79	209	▲ 23.4



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	10	20	3	33	21.2
その他製造業	6	17	13	36	▲ 19.4
建設業	3	27	6	36	▲ 8.3
卸売業	1	9	13	23	▲ 52.2
小売業	2	13	16	31	▲ 45.2
サービス業	8	24	18	50	▲ 20.0
合計	30	110	69	209	▲ 18.7



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(4～6月期)	今期(7～9期)	比較増減
売上高前期比	▲ 13.9	6.1	20.0
売上高前年同期比	▲ 25.0	9.1	34.1
仕入単価前期比	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 2.3
利益率前期比	▲ 30.6	▲ 12.1	18.5
資金繰り前年同期比	▲ 11.1	▲ 3.0	8.1
従業員前年同期比	8.3	27.3	19.0
業況前期比	▲ 11.1	0.0	11.1
業況前年同期比	▲ 22.2	3.0	25.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 16.7	21.2	37.9

[企業コメントより]

- ・現状の業績悪化は、検収がわずかな不具合から3次検収に至らなかったのが原因で、仕事量自体は多い。
9月決算では、仕上げをきっちり行えば利益が出る計算である。【金型製作】
- ・客先の生産が回復傾向にある。今後は少しずつ業況は好転していくものと思われる。【部品製造】
- ・新規アイテム増加分の受注が、今まで減少してきた受注分に代わるように増えてきた。【塗装】
- ・弊社では、若年層の入社希望者があれば年2名までは入社させる方針のため、従業員数は増加している。
また、働き方改革に盛り込まれた残業時間規制の為、新規受注量を調整する局面も発生している。【部品製造】

その他製造業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 16.2	▲ 8.3	7.9
売上高前年同期比	▲ 8.1	▲ 30.6	▲ 22.5
仕入単価前期比	▲ 40.5	▲ 27.8	12.7
利益率前期比	▲ 27.0	▲ 13.9	13.1
資金繰り前年同期比	▲ 10.8	▲ 19.4	▲ 8.6
従業員前年同期比	21.6	19.4	▲ 2.2
業況前期比	▲ 24.3	▲ 22.2	2.1
業況前年同期比	▲ 27.0	▲ 36.1	▲ 9.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.3	▲ 19.4	4.9

[企業コメントより]

- ・取引先各社とも、年度後半の投資を見合わせている。【機械製造】
- ・日産、ホンダ系の開発が低迷している。【機械製造】
- ・売り上げは堅調に推移している。消費増税については、4～6月に引き続き7～9月も特に大きな影響は出ていない。【電気製品】
- ・消費増税を10月に控え、各顧客とも2%分のコストダウンを図ろうと相見積のオンパレードだ。【食品製造】
- ・トータルで、「普通」からやや「悪い」方向にあるが、急な変化は無い。【内装用品製造】
- ・中国向け等の影響が出始めているようだ。【物流資材製造】

建設業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 21.2	▲ 13.9	7.3
売上高前年同期比	▲ 15.2	▲ 11.1	4.1
仕入単価前期比	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 0.0
利益率前期比	▲ 21.2	▲ 8.3	12.9
資金繰り前年同期比	0.0	▲ 8.3	▲ 8.3
従業員前年同期比	12.1	8.3	▲ 3.8
業況前期比	▲ 6.1	▲ 19.4	▲ 13.3
業況前年同期比	▲ 9.1	▲ 16.7	▲ 7.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 9.1	▲ 8.3	0.8

[企業コメントより]

- ・人手不足により採用がうまくいかない。【エクステリア工事】
- ・工事発注件数、受注件数の減少。【土木工事】
- ・忙しい時には特に人手不足を痛感している。【管工事】

卸売業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 26.9	▲ 13.0	13.9
売上高前年同期比	▲ 23.1	▲ 17.4	5.7
仕入単価前期比	▲ 53.8	▲ 56.5	▲ 2.7
利益率前期比	▲ 34.6	▲ 13.0	21.6
資金繰り前年同期比	▲ 11.5	▲ 8.7	2.8
従業員前年同期比	23.1	26.1	3.0
業況前期比	▲ 19.2	▲ 34.8	▲ 15.6
業況前年同期比	▲ 30.8	▲ 34.8	▲ 4.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 15.4	▲ 52.2	▲ 36.8

[企業コメントより]

- ・天候・気象状況の影響もあり、季節商品が販売不振である。消費税増税前のリニューアル案件もあるが、前回の税率改正のような駆け込み需要はほぼない。10月以降の情報も乏しく、資金繰りも非常に厳しい状況である。人手不足で多忙な得意先もあるが、取引先から材料支給を受けていることが多く、弊社からの販売が伴っていない。【電機資材卸】
- ・増税前にもかかわらず、駆け込み需要が無い。先行きも不透明、景気が悪化して行く気もする。【住宅設備卸】
- ・競争の激化【医療機器卸】
- ・取引先の帳合変更および運送費等々の変更が今期業績変化の主要要因である。
10月消費増税後の商流の変化に対し注力する。【飲料卸】
- ・従業員増は、経営者高齢の為、事業の引き継ぎを考えていたところ、後継者が来たためである。【食材卸】
- ・消費税増税前の駆け込みの影響により、対前期、対前年同期ともに上回る傾向にある。【器具卸】
- ・機械販売増【部品卸】

小売業	前期(4～6期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 11.4	▲ 38.7	▲ 27.3
売上高前年同期比	▲ 25.7	▲ 25.8	▲ 0.1
仕入単価前期比	▲ 42.9	▲ 41.9	1.0
利益率前期比	▲ 31.4	▲ 45.2	▲ 13.8
資金繰り前年同期比	▲ 20.0	▲ 32.3	▲ 12.3
従業員前年同期比	8.6	▲ 9.7	▲ 18.3
業況前期比	▲ 40.0	▲ 29.0	11.0
業況前年同期比	▲ 42.9	▲ 45.2	▲ 2.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 45.7	▲ 45.2	0.5

[企業コメントより]

- ・祭りイベントを2カ月に一回ほどやって見たが売り上げは少々であった。【食料品】
- ・客単価や販売個数が減っている。【食品雑貨】
- ・法事関連では家族葬が多くなっていて売上(ギフト)が減少している。
お中元(法人向け)が減り、(個人向け)も贈り主&送り先ともに減って売り上げが下がっている。【ギフトショップ】
- ・消費税の影響か消費マインドの低さを感じる。冷夏の影響もあった。【衣料品】
- ・卸販売している客先では天候不順のため消費が伸びなかったが、自店の売上げでカバーできた。【食料品】
- ・土日のイベントに悪天候が多く売上は天気によって左右された。しかし同業者が廃業した分、売上増もある。【酒類】
- ・夏季の需要が増大し、売上増になった。年度後半は消費税の影響がどう出るか？【米穀】
- ・物価上昇による注文の減少や運賃・配達のための燃料高騰などで経営困難である。【冠婚葬祭用品】

- ・6月の突出の反動か、7～9月が売上減となった。【楽器等】
- ・7月から取引先本社で新しいシステム導入があった。8月は慣れるまでの時間や器械トラブルも多く、仕事は沢山あるのに処理に時間労力がとられうまく回転しない。それに関連した経費も多く、本社と現場との温度差が大きい。打開策は良い人材育成しかない。【化粧品ほか】
- ・増税前の駆け込み需要が見込める。【時計・嗜好品】

サービス業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 5.9	▲ 8.0	▲ 2.1
売上高前年同期比	▲ 2.0	▲ 20.0	▲ 18.0
仕入単価前期比	▲ 43.1	▲ 30.0	13.1
利益率前期比	▲ 11.8	▲ 20.0	▲ 8.2
資金繰り前年同期比	▲ 11.8	▲ 8.0	3.8
従業員前年同期比	▲ 2.0	▲ 8.0	▲ 6.0
業況前期比	▲ 9.8	▲ 12.0	▲ 2.2
業況前年同期比	▲ 7.8	▲ 18.0	▲ 10.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 2.4

[企業コメントより]

- ・設備更新に相当な額を要する見込みであるが、売上は横ばいで先行きに不安を感じている。【情報サービス】
- ・2018年後半～2019年前半は自動車メーカーの完成検査員不足や種々のトラブルによって生産が落ちた。2019年後半は回復した。一方、ドライバー不足は継続している。【輸送】
- ・この先燃料費がどのようになるか、まだまだ値上がり前までには下がっていないので心配だ。【運送】
- ・求人を行っているが応募がない。【物流】
- ・仕入(物価)上昇により売上も減少(やや減少、程度かな?)【食品調理販売】
- ・10月からの消費増税は、サービス業、小売業にとって更なる景気悪化の火種になる。特定の業界を混乱させるような軽減税率はやめてほしい。【広告】
- ・調理材料である小麦粉等や魚介類、エビ・タコ等の値上がりが毎年続いている。現況は大変なところだ。【レストラン】
- ・テーブルオーダー端末の導入後の感想としては、お席へのご案内が早くなるのは良いが一斉に注文が入り調理配膳が遅れてしまう傾向がある。空席であっても全体のバランスをみて席へのご案内をしなくてはならないことを学んだ。端末導入後、注文数の少ないものが増えるなど商品の出数が変化した。全体の注文数は増えている。一方、お客様との間で注文の行き違いなどのトラブルも増えていて、食材の廃棄などにつながることもある。【レストラン】
- ・9月～12月の商戦に向け、企業体力をつけ邁進したい。利益率の高い仕事をチョイスすることも重要と考える。【ケータリング】
- ・10月から消費税が8%から10%に変わるので、今まで以上に余分な「仕入れ」をしないようにして必要最低限の在庫管理が行えるようにする。【理容業】
- ・米中の貿易問題の影響で金属相場は悪くなり、製造も思いのほか伸びない。付け加えて日韓の問題や10月以降の消費税UPと、景気が上向く材料が見つからない。いかに経費を減らしていくか考えなくてはならない。【リサイクル】
- ・イベントの参加やSNSの更新などで、認知度は徐々に上がっていると思う。地道に常連を増やし、来店しやすい店を作って行こうと思う。【飲食店】
- ・人件費は上がり、仕入単価も上がって行くが販売価格は上げにくい。増税のタイミングで販売価格を上げていくしかない。【居酒屋】
- ・弊社の受講者数は引き続き増加中である。【学習塾】
- ・事業を見直し、新事業立ち上げ・移行のため仕事を制限している。【医療サービス】
- ・特に変化は無いが見通しは悪くもない。【美容業】
- ・7月の天候不順が売り上げにひびいた。

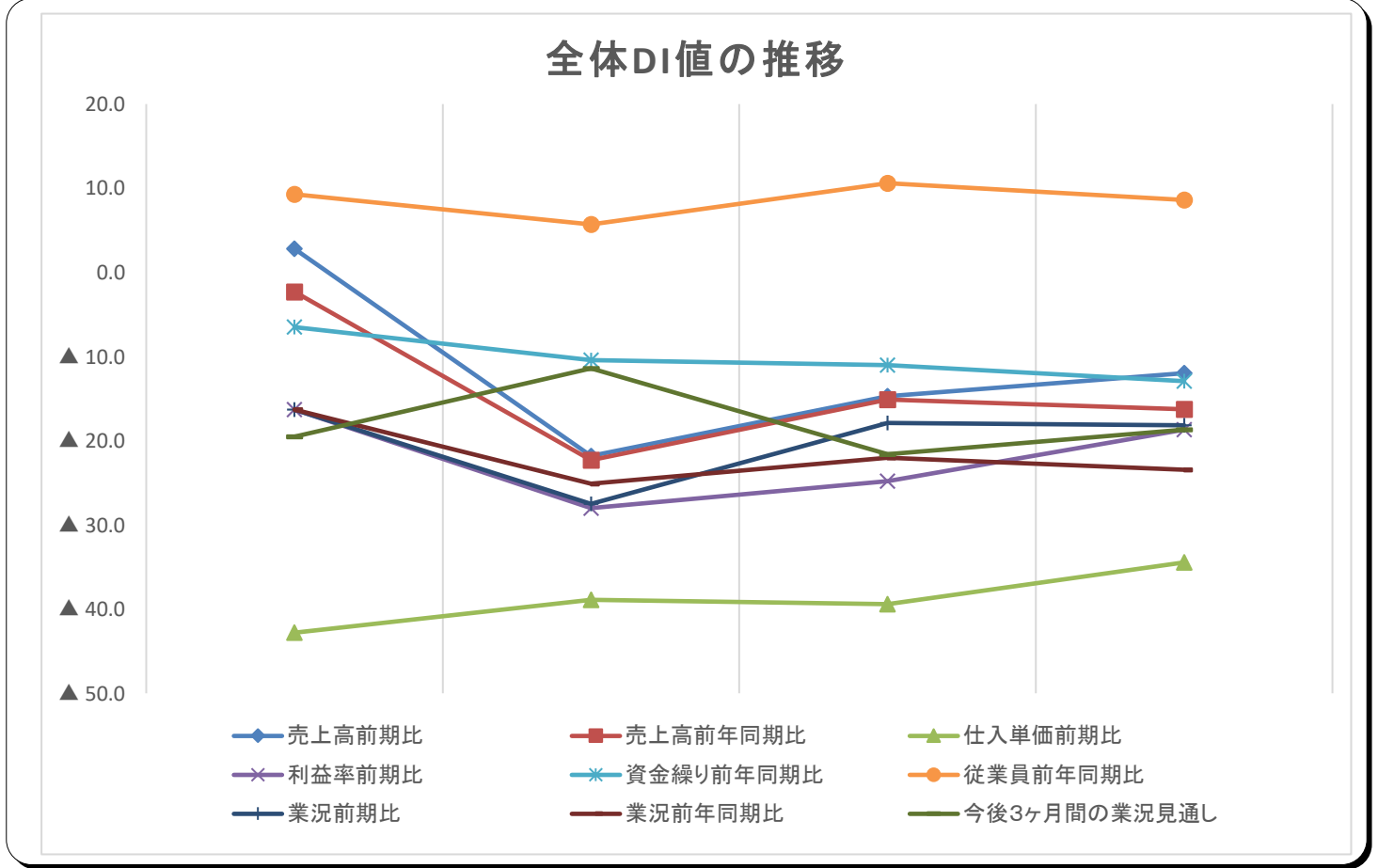
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 14.7	▲ 12.0	2.7
売上高前年同期比	▲ 15.1	▲ 16.3	▲ 1.2
仕入単価前期比	▲ 39.4	▲ 34.4	5.0
利益率前期比	▲ 24.8	▲ 18.7	6.1
資金繰り前年同期比	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 1.9
従業員前年同期比	10.6	8.6	▲ 2.0
業況前期比	▲ 17.9	▲ 18.2	▲ 0.3
業況前年同期比	▲ 22.0	▲ 23.4	▲ 1.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 21.6	▲ 18.7	2.9

(4) 動向について

- ・7～9月期の売上高DIは前期比で上昇したものの前年同期比で低下するなど、その方向感はまだ明らかではない。一方、仕入単価DIはマイナス水準ながら上昇し、利益率もこれに伴ってやや改善している。
- ・業況DIについては、前期比、前年同期比ともにわずかに低下するも全般的には横ばいの範囲内。輸送機器に広がる受注回復、消費税増税前の卸小売業の不安など相反する要因の混在がみてとれる。
- ・今後3カ月間の見通しについては、前期調査時の水準と比べわずかな上昇を予想している。しかしながら依然としてマイナス幅は大きく、現状では明確な方向感を感じられない。

全 体 D I 値 の 推 移	2018.10-12期	2019.1-3期	2019.4-6期	2019.7-9期
売上高前期比	2.8	▲ 21.8	▲ 14.7	▲ 12.0
売上高前年同期比	▲ 2.3	▲ 22.3	▲ 15.1	▲ 16.3
仕入単価前期比	▲ 42.8	▲ 38.9	▲ 39.4	▲ 34.4
利益率前期比	▲ 16.3	▲ 28.0	▲ 24.8	▲ 18.7
資金繰り前年同期比	▲ 6.5	▲ 10.4	▲ 11.0	▲ 12.9
従業員前年同期比	9.3	5.7	10.6	8.6
業況前期比	▲ 16.3	▲ 27.5	▲ 17.9	▲ 18.2
業況前年同期比	▲ 16.3	▲ 25.1	▲ 22.0	▲ 23.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 19.5	▲ 11.4	▲ 21.6	▲ 18.7



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、7～9月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 1.4	▲ 15.0	－	－
建設業	▲ 13.9	▲ 2.5	－	－
卸売業	▲ 13.0	▲ 16.9	－	－
小売業	▲ 38.7	▲ 25.4	－	－
サービス業	▲ 8.0	▲ 13.5	－	－
全 体	▲ 12.0	▲ 15.5	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.6	－	▲ 13.1	▲ 1.5
建設業	▲ 11.1	－	▲ 3.4	▲ 0.2
卸売業	▲ 17.4	－	▲ 12.4	
小売業	▲ 25.8	－	▲ 18.6	
サービス業	▲ 20.0	－	▲ 24.7	
全 体	▲ 16.3	－	▲ 7.8	▲ 0.5

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 27.5	－	▲ 37.0	－
建設業	▲ 33.3	－	▲ 45.2	－
卸売業	▲ 56.5	－	▲ 40.4	－
小売業	▲ 41.9	－	▲ 34.0	－
サービス業	▲ 30.0	－	▲ 33.3	－
全 体	▲ 34.4	－	▲ 33.4	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 13.0	▲ 21.9	▲ 19.1	▲ 10.4
建設業	▲ 8.3	▲ 9.0	▲ 12.4	▲ 4.4
卸売業	▲ 13.0	▲ 20.6	▲ 19.7	
小売業	▲ 45.2	▲ 31.6	▲ 22.4	
サービス業	▲ 20.0	▲ 19.9	▲ 27.5	
全 体	▲ 18.7	▲ 21.9	▲ 14.2	▲ 6.1

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 11.6	▲ 11.9	▲ 11.1	14.0
建設業	▲ 8.3	▲ 0.3	▲ 4.6	18.0
卸売業	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 8.7	
小売業	▲ 32.3	▲ 20.8	▲ 13.3	
サービス業	▲ 8.0	▲ 12.6	▲ 18.3	
全 体	▲ 12.9	▲ 12.7	▲ 10.8	16.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	23.2	▲ 3.4	—	—
建設業	8.3	▲ 2.6	—	—
卸売業	26.1	▲ 3.9	—	—
小売業	▲ 9.7	▲ 6.1	—	—
サービス業	▲ 8.0	▲ 5.6	—	—
全 体	8.6	▲ 4.6	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

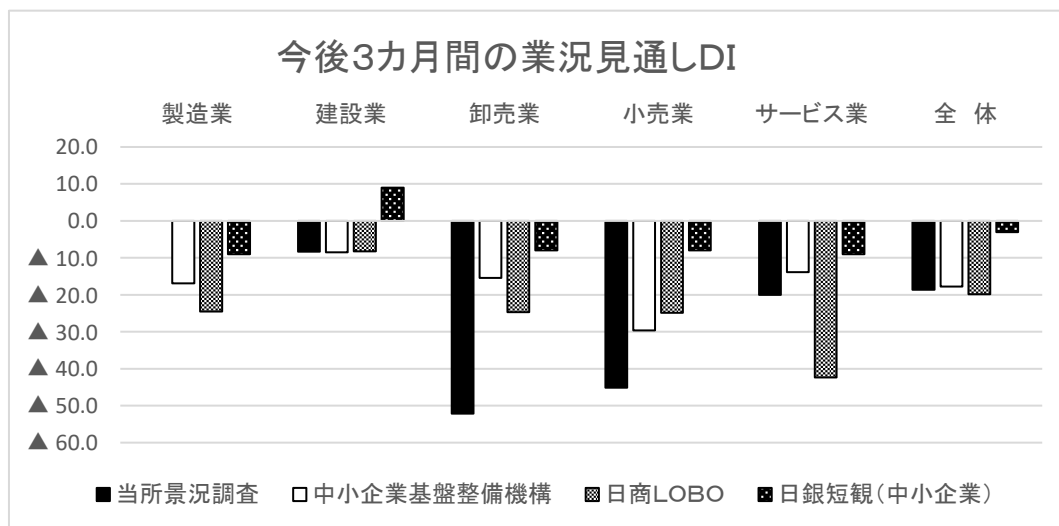
	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.6	▲ 17.2	—	▲ 4.0
建設業	▲ 19.4	▲ 0.6	—	24.0
卸売業	▲ 34.8	▲ 17.4	—	▲ 2.0
小売業	▲ 29.0	▲ 26.6	—	▲ 4.0
サービス業	▲ 12.0	▲ 14.9	—	▲ 5.0
全 体	▲ 18.2	▲ 16.6	—	5.0

⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 17.4	—	▲ 20.4	—
建設業	▲ 16.7	—	▲ 6.6	—
卸売業	▲ 34.8	—	▲ 21.6	—
小売業	▲ 45.2	—	▲ 27.7	—
サービス業	▲ 18.0	—	▲ 30.8	—
全 体	▲ 23.4	—	▲ 15.8	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 16.9	▲ 24.5	▲ 9.0
建設業	▲ 8.3	▲ 8.5	▲ 8.2	9.0
卸売業	▲ 52.2	▲ 15.4	▲ 24.7	▲ 8.0
小売業	▲ 45.2	▲ 29.6	▲ 24.9	▲ 8.0
サービス業	▲ 20.0	▲ 13.9	▲ 42.4	▲ 9.0
全 体	▲ 18.7	▲ 17.8	▲ 19.8	▲ 3.0



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2019年（令和元年）10月8日 発行